

京都大学  
教育学部紀要

XXI

京都大学教育学部

1975

# 京都大学教育学部紀要 XXI

## 目 次

### 論 文：

- 1) マルチン・シュレチンガーにおける図書館学の構想……………小 倉 親 雄… 1
- 2) 発見学習について……………稲 葉 宏 雄… 10
- 3) T S T (20答法)における二つの反応様式について……………高 垣 忠 一 郎… 18
- 4) フッサールにおける〈生活世界〉の意味……………土 戸 敏 彦… 26
- 5) シェーラーにおける価値と Ordo Amoris ……………若 原 道 昭… 34
- 6) 我とは何か……………林 信 弘… 42
- 7) 石田梅岩の天人一致とその意義……………八 箇 亮 仁… 50
- 8) 教育政策の形成と帝国議会 —明治23年改正小学校令をめぐる—…吳 宏 明… 58
- 9) イギリスにおける義務教育修了後の青年教育をめぐる諸構想について…佐々木 毅… 66
- 10) 水平運動とピオネール……………梅 田 修… 74
- 11) 芦田恵之助「随意選題論」の研究 —綴方教育改革論の構造—……………河 原 尚 武… 81
- 12) 実験主義教育学に於ける「自己実現」……………金 丸 晃 二… 88
- 13) 短期記憶課題における意味・音韻情報の保持について……………古 滝 美 代 子… 97
- 14) 言語の理解と情報処理……………矢 野 喜 夫… 106
- 15) 保存性研究の諸問題について……………落 合 正 行… 113
- 16) 就学前期に於ける構成活動の発生的分析 ……………中 島 純 子… 124  
—行為の内的プログラムの形成—
- 17) 主客の人間学への一試論……………村 本 詔 司… 131
- 18) クラスタ分析による知的能力のプロフィール分析……………佐 野 竹 彦… 139
- 19) 感覚の言語形成における役割 (I) ……………須 田 洋 行… 146
- 20) 大正自由教育の分析視角 —その実践的限界—……………小 島 勝… 154
- 21) ドイツにおける「社会の科学」と社会思想 ……………加 藤 善 夫… 161  
—ローレンツ・フォン・シュタインの社会学—
- 22) 教育運動と教育科学 ……………江 阪 正 己… 170  
—教育の構造的把握についての方法的検討 (序説)—
- 23) 公民館研究における地域性について……………大 前 哲 彦… 177

### 彙 報：

- 年 表…………… 184
- 昭和49年度修士および卒業論文題目…………… 186

昭和49年度 卒業論文題目

氏 名	論 文 題 目
伊 藤 和 男	明治末年の教育状況 —南北朝正閏問題をめぐって—
西 山 正 秋	就学前教育における問題点 —「学令成熟」を中心として—
菊 澤 友 義	デューイの「誰でも信仰」を中心に
上 坂 純 朗	日本のナショナリズムの流れ
麻 生 道 子	文記憶における意味の役割
瀬 尾 龍	経済と教育について —学歴主義の研究—
田 中 晴 子	精神病院におけるグループ・アプローチ
為 森 修	人間の自由について —E・フロムの説を中心にして—
辻 顕 延	マックス・ウェーバー研究 —「行為」概念を中心として—
生 川 利 明	日本に於ける私学の現状とその将来 —公費助成問題を中心として—
西 井 芳 郎	解放教育の視点について —教師の立場から—
水 野 英 和	三島由紀夫に関する心理学的研究（自決を中心に）
梅 木 紀 秀	戦後日本におけるPTA理念の定着に関する一考察
大 西 幸 夫	世論 —伝統的世論理論の崩壊と現代世論—
河 田 浩 光	幼保一元化についての一考察
河 田 祐 子	幼児の家族画に関する研究
木 根 俊 博	弁証法的決定論による人格把握 —矢川徳光氏の所論を中心にして—
倉 光 修	評価とフィード・バックの機能 —高校における英語・数学を材料として—
黒 田 勇	日本におけるマス・コミュニケーション研究の課題についての一考察 —受容過程論を出発点として—
鈴 木 雅 美	天皇制イデオロギーと国民思想 —神話教育による歴史意識の形成—
高 橋 和 子	在宅障害児に対する家庭訪問教育についての一考察 —一人子の事例の検討を通して—
高 野 良 一	「教育における住民自治」の歴史と現実 —住民の教育要求の組織化のあり方を追求して—
武 安 典 子	「母と子の権利の統一的保障」の思想 —保育所づくり運動の展開にみる—
橘 良 治	達成課題における達成動機づけ水準と操作的な因果帰着、及びそこに生じる感情反応につ いての実験的考察 —帰着モデルの明確化への試み—
田 中 耕 治	「問題解決学習」における知識の位置について
辻 井 景 子	大学生における女性の役割像について
徳 永 正 直	K.Jaspersにおける「交わり」の問題について —実存的交わりの倫理的意義—
中 左 恵 子	自己教育と社会教育行政のかかわり
二反田美智子	障害児学級における重度児の教育指導に関する一考察 —「話しことば」獲得期前の重度児Sに焦点をあてて—
林 あつ子	幼児における数の比較について
松 岡 伊 久 子	道徳性の発達 —中学生における自己・他者の緊張関係に関する一調査—
森 本 全	短期記憶における干渉効果の検討
吉 村 浩 一	眼球—頭部の協応運動パターンの発達心理学的研究
渡 辺 節 子	ロールシャッハ・テストと質問紙との比較 —とくに向性指標を中心として—

大石 収	学歴社会における教育の機会均等の再検討
大庭 宣尊	社会教育における「国民」と階級 —「生涯教育」論を中心に—
福西 信幸	軍隊の近代的組織化と教育の問題点 —文武一致理念の崩壊と近代的軍事教育の成立—
古島 伸一郎	日本の社会教育の歴史的発展について
神谷 栄司	少年少女組織の教育的意義 —1920年代のソビエトのピオネール運動とクルプスカヤの思想に対する考察—
仲谷 兼人	周辺視の機能 —形体党と伝達情報量—
宮里 恵子	「精神薄弱児」教育における作業学習論の検討 —中学年令「書きことば」獲得期の「精神薄弱児」の発達に視点をあてて—

### 昭和49年度 修士論文題目

氏名	論文題目
玉井 直子	プログラマーの適性について
鈴木 政勝	デューイにおける倫理学と道德教育
小林 正道	象徴的相互作用論における方法論的分析
砂田 良一	自我同一性に関する一研究 —自己像との関係について—
岡本 研二	「鍛練主義」体育の成立過程に関する研究
小股 憲明	徳富蘇峰の社会思想 —思想構造と教育観を中心として—
東野 正明	Friedrich Schneider における国際教育科学の構想について
西谷 博交	ディドロの公教育案と「有用性の原理」
前平 泰志	国民教育制度とフランス革命 —ルペルチュとコンドルセの éducation をめぐって—
三原 芳一	日本軍制と教育 —明治末年～大正末年—
小山 常実	天皇機関説事件の思想的解明のために —その2— 美濃部国家思想の形成とその展開
佐々木 英一	ドイツ民主共和国の職業学校 (Berufsschule) における職業教育の改革 —総合技術教育思想との関連で—
辻本 雅史	荻生徂徠の思想とその教育説
福井 直秀	権藤成卿の社稷自治論と「昭和維新」運動における影響
村高 優子	自由と人倫 —弁証法の立場より—
荒木 穂積	幼児期における眼球運動の一研究 —光点追視過程の分析を中心に—
石井 伸子	依存性についての一研究 —依存的行動と質問紙並びに TAT で測定した依存性との関連 を中心として—
石戸 教嗣	教育と上部構造的性について —イデオロギー批判の機能を中心に—
大岸 通孝	継時のおよび同時的判断における視覚の一側優位性
亀山 佳明	自我・他者・世界 —社会的現実の構成に関する知識社会学的分析—
子安 増生	継時呈示概念学習における仮説検証過程の発達的研究 —刺激の種類・概念化の型・仮説消去方略について—

近藤直子	乳児期後期における対人行動の発達 —オトナの働きかけによる行動変化と子どもの内的条件の関連に注目して—
芝田正夫	イギリス公共図書館法の成立とエワート報告
末田啓二	母親の態度についての認知に及ぼす母子のコミュニケーションの影響について
相馬壽明	防衛に関する一実験的研究 —言語の連想と認知に及ぼすR-S次元の影響について—
田中耕二郎	イギリスの障害児教育制度について
土居道栄	Multiple Cue Probability Learningにおける幼児の手がかり使用の特性について —CuedominanceとUtilizationからの考察—
服部素子	マトリックスの記憶の発達の研究 —刺激の冗長性とカテゴリーの使用について—
林悦子	ロールシャッハ・テストにおける人間像と適応について
南憲治	幼児の性役割行動に及ぼすモデルの影響 —玩具による遊びの分析を通して—
南新秀一	ホレース・マンの教育費公共化論について
森谷寛之	多義語・連想検査法試案
藪内道子	対人的コミュニケーション過程についての研究 —話者間の人間関係とコミュニケーション内容の理解との関係について—

編集委員	稲葉宏雄	上田閑照	小倉親雄
	河合隼雄	兵頭泰三	
	阿部達彦	井上正志	古賀一男
	笹山忠則	杉峰英憲	高垣忠一郎

---

昭和50年3月5日 印刷

昭和50年3月10日 発行

著者並  
発行人

京都大学教育学部

代表者 藤本良之助

印刷所

(企)昭和堂印刷所

代表者 田村俊一

京都市左京区百万辺交叉点上ル電停前

発行所

京都大学教育学部

京都市左京区吉田本町

---

# Kyoto University Research Studies

## in Education

### XXI

#### Contents

Martin Schrettinger and his Conception of Library Science .....	<i>Ch. Ogura</i>	1
On Discovery Learning .....	<i>H. Inaba</i>	10
On two Modes of Responses to the Twenty Statements Test .....	<i>Ch. Takagaki</i>	18
Ueber die Bedeutung der "Lebenswelt" bei Husserl .....	<i>T. Tsuchido</i>	26
"Wert und Ordo Amoris" in Scheler .....	<i>D. Wakahara</i>	34
"Que suis je?" .....	<i>N. Hayashi</i>	42
The Thinking of Ishida Baigan and its Significance .....	<i>A. Hakka</i>	50
The Imperial Diet and Educational Policy in Meiji Japan — The 1890 Revision of the Imperial Ordinance on Elementary Schools .....	<i>K. Go</i>	58
Alternative Educational Opportunities for Students Completing Compulsory Education in England and Wales .....	<i>T. Sasaki</i>	66
A Study of the Pioneer Organization of the Suihei Movement .....	<i>O. Umeda</i>	74
Enosuke Ashida : His Epoch-making Advocacy of a new Form of Composition .....	<i>N. Kawahara</i>	81
"Self-Realization" in Experimental Theory of Education .....	<i>K. Kanamaru</i>	88
The Retention of Semantic and Phonemic Information in a Short-term Memory Task .....	<i>M. Kotaki</i>	97
Language Comprehension and Information Processing .....	<i>Y. Yano</i>	106
Problems of Current Researches on Conservation .....	<i>M. Ochiai</i>	113
A Developmental Analysis of Constructive Activities of Pre-school Children — The Internal Formation of Bases for Actions .....	<i>J. Nakajima</i>	124
An Essay on the Problem of Subject and Object .....	<i>Sh. Muramoto</i>	131
An Examination of the Profile of Intelligence Test Results by Cluster Analysis .....	<i>T. Sano</i>	139
The Role of Sensory Systems on Language Formation (I) .....	<i>H. Suda</i>	146
Reflections on the Practical Aspects of Taisho Liberal Education .....	<i>M. Kojima</i>	154
"Wissenschaft der Gesellschaft" in Germany and Social Thought — The Sociology of Lorenz von Stein .....	<i>Y. Katō</i>	161
The Educational Movements and Science of Education .....	<i>M. Esaka</i>	170
A Study of the Conception of "Community" in the Kōminkan .....	<i>T. Ōmae</i>	177

---

The Faculty of Education, Kyoto University

March, 1975